

「平成21年7月21日豪雨災害」の被害状況と対応について

1 経緯

平成21年7月19日(日)以降、梅雨前線の停滞による豪雨が発生し、20日(月)の10時までの総雨量は、萩市須佐で164.5mmを記録した。その後、降雨は一時小康状態となったが、21日(火)早朝から再び県内各地で非常に激しい雨が降り、8時には美祢市桜山で88.0mm、山口市で74.5mm、9時には防府市で63.5mm(観測史上最高)を観測するなど、記録的な豪雨となったことから、10時に、山口県災害対策本部(本部長：知事)を設置した。

特に、山口・防府地区には、21日4時18分に大雨警報・洪水注意報が発表され、12時には19日からの積算雨量が山口市で286.0mm、防府市で285.0mm(観測史上最高)という大雨となった。

21日12時頃、防府市での土石流の発生。これを受け、12時20分に自衛隊に災害派遣を要請するとともに、近隣の県・市に防災ヘリコプターの派遣を要請した。

2 気象状況

7/19～21 (21日発災)	(時間雨量)桜山(美祢)：88.0mm(7/21 8:00)、山口：74.5mm(7/21 8:00)
	防府：63.5mm(7/21 9:00)
	(累計)防府：332.0 下松：324.5 山口：294.5 柳井：287.0

※22日、23日は降雨なし

7/24～26	(時間雨量)岩国：61.0mm(7/24 22:00)、下関：49.0mm(7/25 21:00)
	宇部：39.0mm(7/26 22:00)
	(累計)下関：335.5 宇部：308.5 桜山：255.0 山口252.5

3 被害状況(平成21年9月14日現在)

○人的、住家被害

区分	人的被害				住家被害				
	死者	行方不明	重傷	軽傷	全壊	半壊	一部損傷	床上浸水	床下浸水
下関市	1							4	42
宇部市						4		49	201
山口市					2	8		361	1,561
萩市								16	167
防府市	14		3	22	29	62	16	110	1,012
下松市						1		4	100
岩国市	1							28	76
光市							5		7
長門市							1	12	95
柳井市							1	4	132
美祢市	1						2	2	26
周南市			1		1	2		38	148
山陽小野田市								44	221
周防大島町						1	4		5
田布施町							1	2	73
平生町									3
阿東町									11
計	17	0	4	22	32	78	30	674	3,880

○ライフライン

電気施設(停電)	全県 40,700戸 ※全戸復旧済(8/6 15:17)
水道施設(断水)	5市 35,694戸(106,905人) ※全て復旧済

○その他

農林水産被害	被害金額合計 9,357,485千円(9/14現在)
土砂災害	106箇所(がけ崩れ69箇所、土石流35箇所、地すべり2箇所)
道路(通行規制箇所)	73箇所(全面通行止65箇所、片側交互通行8箇所) 9/14現在29箇所 ●国道262号迂回路として、7/26 16:00から、防府西IC～山口ICが無料化(9/6 13:00 無料化終了)

4 避難状況

区分	避難指示	避難勧告	避難準備情報
対象市町 対象世帯・人数	3市 山口市、防府市 山陽小野田市	10市1町 下関市、宇部市 山口市、萩市、防府市 岩国市、光市、美祢市 周南市、山陽小野田市 田布施町	3市 下関市、萩市、岩国市
	1,198世帯 3,170名	35,678世帯 83,517名	73,707世帯 163,241名
現在の状況 (9/10現在)	なし	1市(宇部市) 4世帯、9名	なし
	避難所人数 なし		

5 災害対策本部の設置状況

山口県	(設置)7月21日 10:00 ~ (廃止)7月31日 17:00 第1回本部員会議(7/21 10:30~) ・災害対策本部の設置 ・気象情報、被害状況の報告 第2回本部員会議(7/23 10:30~) ・気象情報、被害状況の報告 ・各部局の取組状況報告 第3回本部員会議(7/28 11:00~) ・災害対策本部の継続 ・被災者救援対策部の設置 第4回本部員会議(7/31 17:00~) ・災害対策本部の廃止 ・被害対策本部(被災者救援対策部と被害復旧対策部で構成)の設置 (7月31日 17:00に被害対策本部を設置)
市町	宇部市、山口市、萩市、防府市、下松市、岩国市、光市、柳井市 美祢市、周南市、山陽小野田市、周防大島町、田布施町(11市2町) (防府市の廃止(9/3 17:00)により、市町災害対策本部は全て廃止)

6 国への緊急要望等（27日、29日）

(1) 国への緊急要望

区分	要望者	要望先	要望内容
7/27	知事 県議会議員	内閣総理大臣 内閣官房長官 内閣府、総務省 農林水産省 国土交通省	<ul style="list-style-type: none"> ・激甚災害法の早期適用とこれに基づく財政支援 ・国による技術支援の実施 ・国による土石流対策事業の実施 ・国道262号の迂回路としての高速自動車国道の無料化(7/26 16:00 実施済)
7/29	知事 市町長(9市町)	内閣総理大臣 (総理視察時の緊急要望)	<ul style="list-style-type: none"> ・激甚災害の早期適用 ・国の直轄事業による抜本的な対策 ・被災者生活再建支援制度の改善

(2) 視察状況

7/22	政府調査団	林幹雄防災担当大臣、9府省庁22名
7/29	麻生内閣総理災害現地視察	麻生太郎内閣総理大臣
7/31	参議院議員被災地視察団	鈴木陽悦参議院議員(団長)ほか議員11名

(3) 国の対応状況

①国道262号の迂回路としての高速自動車国道の無料化 ・7/26 16時から、防府西IC～山口ICが無料化
②国による技術支援の実施(7/25～) ・緊急災害対策派遣隊(テック・フォース)、林野庁関係専門職員等の派遣 ・土石流感知センサー設置による警戒避難体制強化
③国による土石流対策事業の実施 ・直轄砂防災害関連緊急工事の着手(8/1)(剣川、神里川、上田南川) (8/7)(奈美川、素川)

7 二次災害防止対策

(1) 緊急通知等による住民への情報提供等

対象等	通知・情報提供の内容	提供方法等
各市町 県関係機関 住民 (緊急通知) (7/24)	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設に係る二次災害防止対策パトロールの強化、緊急措置等の対応 ・避難対策 早期の避難勧告等の発令 避難場所の選定、要援護者対策等 	<ul style="list-style-type: none"> ・各市町長、県関係機関の長に一斉通知 ・報道機関、コミュニティFM(7局)、ケーブルテレビ(10局)等を通じて情報提供
住民 (緊急アピール) (7/25)	<ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害への厳重な警戒が必要 ・気象状況等に留意 ・地元自治体の避難勧告等への的確な対応と、早めの避難 	<ul style="list-style-type: none"> ・各市町長に一斉通知 ・報道機関、コミュニティFM(7局)、ケーブルテレビ(10局)等を通じて情報提供

(2) ため池対策（点検作業）

区分	点検作業等	概要
山口・防府地区	防災へりによる状況確認	7/24（県へり、愛媛県へり、広島市へり）
	現地踏査による点検及び緊急対策（貯水位低下等）	7/24～25 点検箇所 山口市小鯖地区ため池 34箇所 防府市切畑地区ため池 113箇所
	重点点検ため池の点検調査	7/26～27 点検箇所 山口市小鯖地区ため池 5箇所 防府市切畑地区ため池 7箇所
	点検の結果、当面の安全性は確保可能と判断。週末まで点検を継続	
他	安全確認	7/24 全農林事務所に安全確認と対応を徹底

(3) 土石流対策

「山口県緊急派遣チーム砂防支援班」を中心とした緊急点検		105箇所（7/26～27）
点検結果対応等	<ul style="list-style-type: none"> ・105箇所の状況判定（警戒避難体制を要するもの：49箇所） ・二次災害防止対策として土石流センサーを設置（2箇所） 47箇所は検討 	
林野庁技術職員による緊急調査		18箇所（7/23～8/5）
点検結果対応等	<ul style="list-style-type: none"> ・災害関連緊急治山事業の早期採択（2箇所：防府市真尾、国道262号沿線） 	

8 自衛隊、警察等の活動状況

○自衛隊災害派遣（派遣要請 7/21 12:20 → 撤収要請 7/30 21:00）

活動内容：救助活動、急患等搬送、給水支援、入浴支援、航空偵察、地上偵察

部隊名	活動内容	出動状況
陸上自衛隊 第17普通科連隊 （山口市）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 搜索救助活動 防府市真尾、（ライクア高砂）勝坂地区、山口市吉敷 ・ 地上偵察（山口市、防府市） ・ 給水支援活動（山口市）第13旅団と一体活動） 	人員1,405名 車両236台
陸上自衛隊 第13飛行隊（防府市）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 急患等搬送（防府市）3名搬送（ライクア高砂） ・ 航空偵察（山口市吉敷） 	人員10名 へり2機
陸上自衛隊 第13旅団 （広島県海田市）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 給水支援活動（山口市） ・ 入浴支援活動（山口市） 	人員691名 車両215台 入浴セット16
陸上自衛隊第3後方支援連隊（兵庫県・千僧駐屯地）、第13後方支援隊（広島県・海田市駐屯地）ほか		
航空自衛隊 第12飛行教育団 （防府市）北基地	<ul style="list-style-type: none"> ・ 搜索、救助活動 防府市真尾高砂 	人員165名 車両15台
航空自衛隊 航空教育隊 （防府市）南基地	<ul style="list-style-type: none"> ・ 搜索、救助活動 防府市真尾高砂 	人員41名 車両4台
計	人員2,312名、車両470台、へり2機、入浴セット16	

○警察（広域緊急援助隊）（22日～27日）

活動内容：救助活動、捜索活動（防府市）

広島 7/22～24(198名)	岡山 7/22～23(52名)	香川 7/25～27(99名)	計 349名
------------------	-----------------	-----------------	--------

○広域航空消防応援等（21日～25日）

活動内容：救助活動、偵察活動

団体名	7月21日	7月22日	7月24日	7月25日
山口県航空隊 「きらら」 (隊員数 7名)	救助(防府市36名) 人員搬送(防府市) (DMAT 5名)	上空偵察(防府市) 救助(山口市)	上空偵察(防府市) 上空偵察(山口市) 救助(美祿市)	上空偵察(山口市)
山口県警察 「あきよし」(3名)	上空偵察 (映像送信)	上空偵察 (映像送信)	上空偵察 (映像送信)	上空偵察 (映像送信)
自衛隊 (13飛行隊)(7名)	救助(防府市3名)			
愛媛県航空隊 (6名)	救助(防府市9名) 上空偵察(防府市)	物資搬送(山口市)	上空偵察(山口市)	上空偵察(山口市)
広島市航空隊 (7名)	救助(山口市43名)	救助(山口市27名)	上空偵察(山口市)	
福岡市航空隊 (6名)	救助(防府市2名)	救助(山口市24名) 人員搬送(山口市)		
北九州市 航空隊(6名)	上空偵察(防府市) 救助(防府市3名)			
救助者数	96名	51名	—	—

※山口県防災ヘリ「きらら」は、上記のほか

7/23上空偵察(防府市)、7/27救助(山口市)、7/29救助(岩国市)、7/31救助(岩国市)

※山口県警察「あきよし」は、上記のほか

7/23、7/26、7/27上空偵察(映像送信活動)

○県内DMAT（21日）

7/21 13:10 災害対策本部からDMAT派遣要請（解散：19:50）	
出動チーム	県総合医療センター(医師1名ほか6名)、山口大学附属病院(医師3名ほか6名) 徳山中央病院(医師2名ほか5名) 計3チーム(17名)
活動内容	右田地区での負傷者手当、搬送 ライフライン高砂の被災者への救護活動

平成21年7月21日山口県豪雨災害（平成21年中国・九州北部豪雨災害）

◎防府市被害の概要

表 大規模な土砂災害発生箇所と被害状況

名称	所在地	人的被害	状況
真尾 まなお	防府市大字真尾	死者 7名	真尾川支流上田南川の土石流災害 12時30分頃発生、老人ホームが被災 数箇所の崩壊に起因して発生
石原 A・B	防府市大字真尾字石原	死者 2名	矢筈ヶ岳北斜面の土石流災害 下流の住宅地が被災 山火事の痕跡あり
勝坂	防府市大字下右田字勝坂		表層崩壊 ただし、最奥の源頭部で大規模崩壊 谷部の堆積土砂の浸食により土砂流が発生し、下流 の住宅地・道路・橋梁が被災 土砂を堆積させた砂防堰堤あり
下右田 しもみぎた	防府市大字下右田・高井	死者 4名	国道を挟んで、東西両側の沢部から土石流発生 11時40分頃発生 流出土砂は国道を流下し、住宅街に土砂堆積 西側に治山ダムあり
峠下 たおした	山口市大字下小鯖		泥流が発生、下流側の広域に広がる 粗粒のまさ土が主体

◎防府市データ

人口	120,681	人
世帯数	53,727	世帯
高齢者数	28,505	人（高齢化率 23.6%）
ひとり暮らし高齢者数	3,576	人
寝たきり高齢者数	158	人
身体障害者手帳保持者	4,675	人
療育手帳保持者	628	人
精神障害者保健福祉手帳保持者	510	人
地区社会福祉協議会数	15	地区
自治会数	257	地区
民生委員・児童委員数	219	人
主任児童委員数	26	人
福祉員数	308	人
友愛訪問グループ数	299	グループ（711人）
ボランティア数	38	グループ、個人 114人
地域福祉権利擁護事業生活支援員数	52	人
ふれあい・いきいきサロン数	63	か所

◎災害ボランティアセンター設置に向けた体制づくり

（1）災害ボランティアセンターの設置に向けて

※関係者会議（7月21日、22日）

（2）「防府・佐波川流域災害ボランティアセンター」の設置

①日時 7月23日（木）午後1時

②場所 防府市福祉センター（本部）

銀座商店街の空き店舗

◎防府・佐波川流域災害ボランティアセンターの経緯について

（1）経緯

①防府・佐波川流域災害ボランティアセンター

第1次 緊急支援 7月23日（木）～8月5日（水）

※8月1日から防府市文化福祉会館に活動拠点を一元化

第2次 生活支援 8月6日（木）～8月24日（月）

※地区社会福祉協議会長、地区民生委員児童委員協議会長、
地域自治会連合会長会議の開催

②防府市災害復興支援センターを設置運営

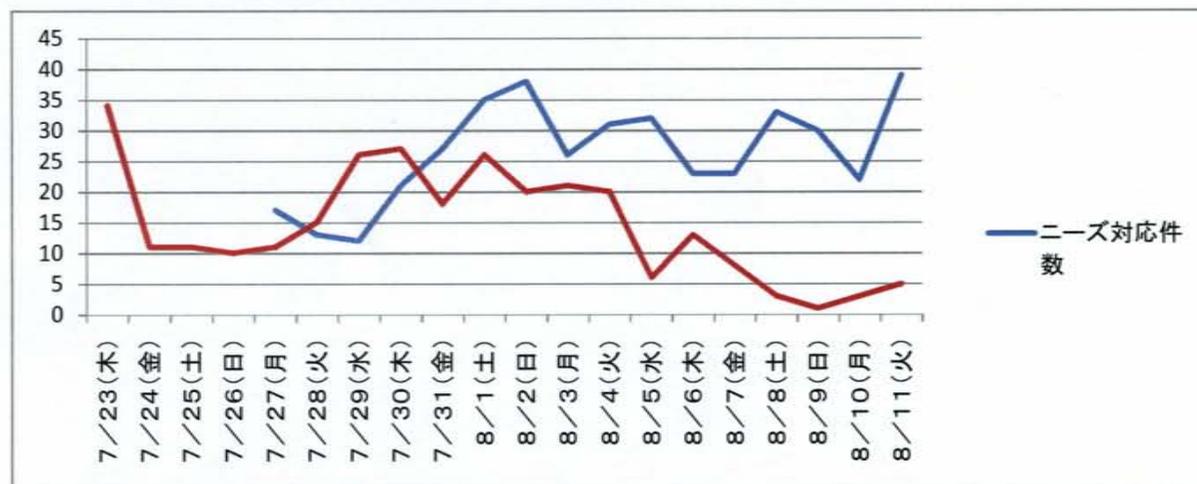
第3次 地域支援 8月25日（火）～

※生活支援員2名配置

防府市 佐波川流域災害ボランティアセンター 相談ニーズ受付・対応の動き(平成21年7月23日～8月11日)

7月	7/23(木)	7/24(金)	7/25(土)	7/26(日)	7/27(月)	7/28(火)	7/29(水)	7/30(木)	7/31(金)
ニーズ受付件数	34	11	11	10	11	15	26	27	18
ニーズ対応件数					17	13	12	21	27

8月	8/1(土)	8/2(日)	8/3(月)	8/4(火)	8/5(水)	8/6(木)	8/7(金)	8/8(土)	8/9(日)	8/10(月)	8/11(火)
ニーズ受付件数	26	20	21	20	6	13	8	3	1	3	5
ニーズ対応件数	35	38	26	31	32	23	23	33	30	22	39



- ・ニーズ受付件数は、新規で災害ボランティアセンターが受付をした件数。8月11日までで総数289件(平均 14件)
- ・ニーズ対応件数は、前日より継続して対応したものも含む。8月11日までで総数422件(平均 21件)

7. 21 中国・九州北部豪雨災害の対応

防府市聴覚障害者災害対策協議会

★ 7月20日(月・休日) 災害前日

2009.9.15

- 県より 13:18 山口・防府に、大雨洪水警報発表を受け、

13:56 マ・メール一斉配信 1 注意喚起

このとき、萩・美祢・岩国に「土砂災害」警戒の言葉有り。

- 県より 17:21 洪水警報解除発表を受け、

20:16 マ・メール一斉配信 2 解除

★ 7月21日(火) 災害発生日

- 県より 6:28 山口・防府(ほぼ全域)に、大雨洪水警報発表を受け、

7:07 マ・メール一斉配信 3 大雨洪水警報注意喚起

6役員メールでは、地域情報を出し合う。(牟礼地区冠水など・・・)

- 8:30 防府市災害対策本部の立ち上がり

6役員メールでは、国交省情報・市情報・地域情報・道路情報を出し合う。

- 上記のことを受けて 9:10 マ・メール一斉配信 4

- 地域情報が入ってくる中で、大きな災害の可能性があるので情報提供を決め

13:29 マ・メール一斉配信 5 自主避難の喚起と会員からの情報収集

- 会員からの情報を一斉配信で情報として返していく。

14:01 マ・メール一斉配信 6

牟礼地区の道路冠水・右田と小野地区の土砂災害・佐波川危険水位情報提供

一方で、土砂災害地区の会員の安否について確認

避難勧告発令について確認できなかった、行政無線も発揮されず、

市の安心・安全メールも機能せず。

- 会員からの情報を一斉配信で情報として返していく。

18:06 マ・メール一斉配信 7

262号線と大道の通行止め・地域情報提供

★ 7月22日(水) 災害翌日

- 県より 8:22 警報解除発表を受け、

8:36 マ・メール一斉配信 8 解除

- 6役員メールで、復旧ボランティアに協議会として申し出てはどうか、会員の安全が確認できたので今こそ「共助」のときではないか、と協議する。

★ 7月23日(木) 災害2日目

- 9:03 マ・メール一斉配信 9 復旧ボランティアの募集

20名の応募がある

◎防府市文化福祉会館で午後「防府市・佐波川流域災害ボランティアセンター」発足

4名が参加 センター本部立ち上げの準備

★ 7月24日(金) 災害3日目

◎災害ボランティア 現地入りなし 8名待機

- 設置手話通訳者 8:32 避難勧告の予告を6役員メールへ

9:44 マ・メール一斉配信 10 避難勧告(右田上・真尾)と雨雲情報提供

6役員メールでは、市のメールがこない以上、設置通訳からは、市の情報を。会員からは変化する情報をマ・メールに反映させていくこと。「了解」返信は中止することを確認。

○12:29 防府市安心安全メール 1

避難勧告発令 大道□□地区 避難場所は□□

● 12:39 マ・メール一斉配信 11

上記避難勧告と避難指示（江泊の一部）、午前10時に各地に避難準備情報提供
危険な場合・助けが必要な場合はメールで知らせてくださいと伝える。

● 12:45 マ・メール一斉配信 12

山口方面への迂回路の通行止めの情報提供

● 12:55 マ・メール一斉配信 13

会員からの情報が上がってくるので、「了解」メールはしないことを再度連絡。

会員からの質問（道路情報）には、インターネットなど使って確認しわかる範囲で回答していく。

○ 14:27 防府市安心安全メール 2

避難勧告発令 小野地区全域・右田と大道の一部

● 14:55 マ・メール一斉配信 14

同上を提供

● 15:49 マ・メール一斉配信 15

避難勧告地区の詳細地区名の情報提供（設置通訳からの情報）

● 17:34 防府警察署よりメール配信「災害ニュース～2次災害に備えて～」

● 17:38 マ・メール一斉配信 16

県より 17:16 山口・防府に、大雨洪水警報発表を受け情報提供

合わせて、避難勧告追加分地区名の情報提供（設置通訳からの情報）

～日聴新聞より記録取材の依頼あり～

勧告の出た地域のろう者と支援者に連絡取りながら安否を確認

★ 7月25日（土） **災害4日目**

◎災害ボランティアは中止だったが、3名が小野小学校避難所へ派遣され、聞き取り
調査を行う。

● 19:21 マ・メール一斉配信 17

県より 19:02 山口・防府に、大雨洪水警報発表を受け情報提供

市の行政無線も同様の内容で放送あり

○ 20:46 防府市安心安全メール 3

注意喚起

★ 7月26日（日） **災害5日目**

◎ 災害ボランティアは天候不良で中止

● 14:08 マ・メール一斉配信 18

避難勧告追加地区名の情報提供

○ 13:03 防府市安心安全メール 4 避難勧告発令 右田地区・牟礼地区

○ 19:23 防府市安心安全メール 5 避難指示 右田・勝坂

○ 19:45 防府市安心安全メール 6 避難指示

○ 20:06 防府市安心安全メール 7 避難指示 一部訂正の知らせ

● 19:21 マ・メール一斉配信 19

避難指示地区名の情報提供

● 19:21 マ・メール一斉配信 20

高速道路無料化のお知らせ情報提供

★ 7月27日(日) 災害6日目

◎災害ボランティア9名 市内地域地図を本部へ貼り付ける。場所の移動(3階へ)。

● 10:33 マ・メール役員配信 21

運営委員へ災害ボランティアの支援の状況と神宮司さんをリーダーとすることを周知する。また、個々へのアンケートの依頼。

● 11:25 マ・メール斉配信 22

個人へのアンケート配信

● 11:25 マ・メール斉配信 23

県より11:30 山口・防府に、大雨洪水警報解除・大雨注意報継続発表を受け提供

● 13:34 マ・メール斉配信 24

災害ボランティアのお知らせと再募集

○ 13:41 防府市安心安全メール 8

避難指示勧告が避難勧告へ切り替わった(右田・小野の一部)
避難勧告解除(中関・富海)

○ 15:58 防府市安心安全メール 9

避難勧告解除

● 13:34 マ・メール斉配信 25

防府市安心安全メール内容を情報提供

○ 19:55 防府市安心安全メール 10

避難勧告解除

★ 7月28日(月) 災害7日目

◎災害ボランティア10名 真尾さくらんぼ集会所の清掃

★ 7月29日(火) 災害8日目

◎災害ボランティア11名 午前中止 午後大道個人宅へ

★ 7月30日(水) 災害9日目

◎災害ボランティア11名 牟礼敷山個人宅へ

○ 9:14 防府市安心安全メール 11 避難勧告解除

● 13:34 マ・メール斉配信 26

避難勧告解除地区名情報提供

○ 14:13 防府市安心安全メール 12 避難勧告解除

★ 7月31日(木) 災害10日目

◎災害ボランティア8名 田の口の個人宅

★ 8月1日(金) 災害11日目

◎災害ボランティア5名 田の口の個人宅2軒 その他の学生(防商野球部)ボランティアが18名

● 21:39 マ・メールボランティア配信 27

土日に向けて参加者へ注意事項と連絡

★ 8月2日(土) 災害12日目

◎災害ボランティア9名 田の口の個人宅

★ 8月3日(日) 災害13日目

◎災害ボランティア9名 田の口の個人宅、真尾集会所

★ 8月4日(月) 災害14日目

◎災害ボランティア5名 田の口の個人宅

その他の個人ボランティアが 16 名

● 12:32 マ・メールボランティア配信 28

避難勧告解除

★ 8月5日(火) 災害15日目・・・ボランティア最終日

◎災害ボランティア 8名 田の口の個人宅

その他の学生(下関商2・誠英18)ボランティアが20名

★ 8月7日(金) 災害17日目

● 9:05 マ・メール一斉配信 29

アンケート集計結果のお知らせ

★ 8月20日(木) 災害30日目

● 21:25 マ・メールボランティア配信 30

復旧ボランティアに行った個人宅へのお見舞いのための募集

★ 9月2日(水) 災害43日目

● 7:34 マ・メールボランティア配信 31

個人宅へのお見舞いの詳細について

★ 9月3日(木) 災害44日目

● 7:40 マ・メールボランティア配信 32

お見舞いに加え、ボランティア活動についてのお願い

○ 15:44 防府市安心安全メール 13

避難勧告の全てを解除

防府市災害対策本部を廃止し、災害復興本部へ移行

● 16:52 マ・メール一斉配信 33

防府市安心安全メール内容を情報提供

【報告】

災害前日より、ウェザーニュースや河川情報などに注意し、県の警報発表に伴う注意喚起を会員へ向けて一斉配信しました。災害翌日には、役員サイドで、今こそ「共助のとき」との思いから、ボランティアを申し出してはどうかと話し合い、災害2日目の「防府市・佐波川流域災害ボランティアセンター」発足以前にボランティア募集を行い、発足式には4名が参加し当初から協力活動ができました。募集の結果、21名(その後1名は個人ボランティアへ移行)の協力の申し出があり、うち、13名が聴覚障害者で、延106名の方の協力がありました。その中で一人の聴覚障害者が協議会ボランティアを束ね、また現場リーダーをも担い、復旧活動を進めていきました。体力的なことも考え8/5までの2週間を区切りとして、ボランティア集会所や民家4軒の復旧作業を全力で行う(9/6に最終ボランティアを行う)ことができました。皆の大変な労苦と、防災のネットワークにより、私たちの良き理解者であった方が本部にいて、私たちの思いと現場ニーズのマッチングに当たられ、その調整力にも感謝し、ここに報告いたします。この活動は全国発信することとなりました(日本聴力新聞9.10月号掲載、「広報」、新聞、ラジオ)。

災害時には「災害要援護者」となる障害者ではあるが、「災害支援者」になり得ることを実証できました。そして、手話ができる支援者がそばにいて活動するよう努める中、いない時間もあり、そんな時は、身振りや口の動き・指差しなどで簡単な会話だが伝え合うことができました。このことは、昨年度制作に取り組んだ「防災サイン」が、災害現場でコミュニケーションツールとして有効だったと確信が持てるものとなり、「防災サイン」取組に自信が持てました。また、今回マメール一斉配信システムを利用して会員の安否確認を行い、会員全員無事を確認できました。そして、災害情報を配信した結果、アンケートによると91%(回答率93%)が「安心できた」と回答し、一斉配信の果たす役割が大きかったことがわかります。

7・21豪雨災害 まなぼらさぼーと編集チーム&関係団体の 「防府市・佐波川流域災害ボランティアセンター」 ボランティア活動報告



+++++
7月21日の豪雨災害に伴い、被災された方々の生活復旧支援を目的に7月23日から8月24日まで「防府市・佐波川流域災害ボランティアセンター」を防府市文化福祉会館敷地内に設置し、多くのボランティアの方々に活動していただきました。ボランティア受付数は延べ7,865名にのぼりました。まなぼらさぼーと編集チームやその登録団体などもボランティア活動に関わり、様々な形で活動しました。その活動報告をしたいと思います。

災害ボランティアセンターって？

災害ボランティアの活動拠点で、被災された方からの要望を手助けをしたいというボランティアの方々につながっていきます。センター活動中は、各地から駆けつけてくださるボランティアの方々を円滑に現場へ送り出し、被災地の復興を支援しました。また、被災された方の困りごとの相談 ボランティアの方の相談 ボランティアへの支援物資受付 ボランティア支援金の受付 なども行いました。

災害ボランティアセンターの様子

受付、ニーズの調整後、災害現場へ

災害ボランティア活動現場の様子

家屋やその周辺の土砂のかきだし作業



災害ボランティアセンター開設期間
平成21年7月23日～8月24日
ボランティア数
延べ7,865名
ニーズ対応件数
636件



VOICE ボランティアさんの声

防府ボランティア連絡会

防府ボランティア連絡会では災害支援活動開始と同時に、延べ347名が参加しました。土日を通して現地の復旧活動のために県内外から集ってくださった方々へ、現地にボランティアへ行く際に必要な装備品をお渡したり、ボランティアさんが現場で使用されたタオルを洗濯したりと、様々な活動に協力しました。幼児から高校生まで次世代を担う子どもたちと一緒に活動しましたが、お互い数多くの事を学ぶことができました。学生の中には、ボランティアに行ったお宅との交流が今も続いている方もいます。今回の災害を教訓に、地域とのつながりづくりなどについて研修を重ねていきたいと思っています。

防府市聴覚障害者災害対策協議会

現場リーダー 神宮司 一男さん

私たちは2週間、災害復旧のボランティアとして被災地に入り活動しました。毎日、猛暑の中、現場では土砂の除去作業が続きました。流れ込んだ土砂の中に木くずが混ざっていて大変な労力でした。私自身、現場リーダーとして活動をさせてもらい、その指示はチームを組んだ他の団体・個人ボランティアにも伝わり、スムーズに進めることができました。自宅に泥流が入った被災者からは「工夫をして支柱を補強してくれたり、素晴らしい仕事ぶりだった。嫌な顔ひとつせず、お願いしたことをすぐにやってもらい、嬉しかった」と言われました。この期間中、誰も外傷もなく無事に終わられてよかったです。今回のことで聴覚障害者が災害ボランティアとして活動できることを広く実証できました。今後災害が発生しても、お互いが助け合うことが大切だと思いました。

「防府市・佐波川流域災害ボランティアセンター」は、8月25日より「防府市災害復興支援センター」へ移行し、現在は、地域住民の方中心の活動をセンターが支援していく体制となっております。地元の方での対応が困難な場合には防府市内のボランティアさんにも支援をお願いすることがあります。その際には、みなさんのご協力をお願いいたします。

防府市災害復興支援センター【住所】防府市緑町1-9-2 防府市文化福祉会館1階
【 】 (0835) 24-9777 (0835) 24-9778 (FAX 兼用)

官民協働による発災対応型

佐波川流域防災訓練IN

[奥畑.久兼.中山.奈美.和字.鈴屋.真尾]

防府市
指定の
避難所

その時!とこに逃げる



小野地区

2008年

6月22日(日)

～ドキドキなんどきなにする時! 声かけ合って地域を守ろう～

佐波川中流域の小野地区(7自治会)を対象に小野小学校
体育館を災害対策拠点にして、住民への避難の呼びかけ
避難所運営、給食、災害時要援護者の搬送支援など、
現実の自然災害(河川洪水.土砂崩落)に即した形で
地域の人たちが参加する防災訓練を官民協働で
実施をします。



漏水発見! 水防工法
[月の輪. シート張り.
土のう積み]に着手。



♪「本日は訓練です」
♪「避難勧告が発令されました」
♪「避難所に避難をしてください」

6月22日(日)午前中に防府市広報車、山口県警のパトカー
が避難訓練開始のアナウンスをして回ります。

防災訓練に関する問合せは、下記の連絡先をお願いします。

※訓練ボランティア…防府市市民活動支援センター TEL 0835-38-4422

※小野地域の方…小野公民館 TEL 0835-36-0830

※自治会&自主防災組織…防府市防災対策室 TEL 0835-25-2115

佐波川流域防災訓練

地球温暖化の影響か？世界規模で記録的な災害が発生しています。

私たちの身近に流れる一級河川『佐波川』は、ここ数十年大きな被害を発生させていませんが、異常気象によって、静かな『佐波川』が暴れだすかもしれません。

その時、『佐波川』がどんな暴れ方をするのでしょうか？溢れたら「どこ」に避難をすればいいのでしょうか？

佐波川が静かにしている時にこそ、災害に対する“備え”を考え、動いてみることで憂い(悲しくつらい)を遠ざけることになると考えます。

■ 実施日 2008年6月22日(日)

雨天決行(警報が発令された場合は7月21日に延期)

□ 場 所 小野小学校体育館を訓練拠点地として、小野地域(7自治会:奥畑・久兼・中山・奈美・和字・鈴屋・真尾)で行う。

□ 時 間 10時～15時

[行政間情報伝達は早朝8時00分から訓練を開始]

□ 今回の訓練の目的

自然災害[河川氾濫・土砂災害]に対する地域(小野地区7自治会)の防災力を高めるために地域の強さ弱さ確かめ、発災時に住民が「どう！すればいいか？」という対応について、地域の拠点である小野公民館を核にして、災害対応組織(仮称:小野災害対策連絡会議)が情報収集、地域点検、関係機関調整、避難所運営など、住民の生命を守るために「今、何する時！」をキーワードにして、現実的な想定で防災支援体制の確立や伝わりにくい住民への「災情報伝達」、災害時要援護者の搬送、水防活動の応援など、実働による訓練を実施する。

訓練プログラム

■ 訓練ステージNo.1《情報伝達訓練》

※行政(国交省・山口県・防府市)の情報受発信(ホットライン)の訓練を実施する。

■ 訓練ステージNo.2《水防工法訓練》

※国交省・防府市・消防本部・水防団が連携して、佐波川小野地区奈美(右岸)で見られた堤防漏水に対して、漏水対策水防工法を実働で実施する。

■ 訓練ステージNo.3《現地対策本部指揮所訓練》

※小野公民館 現地対策本部指揮所訓練。現地対策本部を小野小学校体育館にステージ付近に設置。①防府市災害対策本部からの情報による対応②地元からの要請に対応③消防団からの協力要請に対応④災害時要援護者(民生委員)からの救助要請に対応(車イスでの搬送)⑤避難所での避難者確認(名簿作成)に対応⑥避難所での居場所づくりに対応⑦災害時要援護者の避難所でのケアに対応⑧給水(水・お茶)の対応⑨給食(非常食+カレー)の準備、配布と給湯の対応。を川上認公民館長を中心に実施する。

■ 訓練ステージNo.4《住民避難行動訓練》

※情報伝達訓練と伝導して、小野7地区の住民が指定された「避難所」に移動する訓練を実施する。

■ 訓練ステージNo.5《避難所運営訓練》

※小野小学校体育館避難所運営訓練。避難所での避難者確認(名簿作成)①小野地区の住民 ②小野地区以外の自主防災組織 ③市内の自治会長 ④防災ボランティアスタッフ ⑤小・中学校の生徒 ⑥社協・民生委員(福祉系)⑦行政関係者(国交省・山口県・防府市)など。※避難所での居場所づくり。

■ 訓練ステージNo.6《災害時要援護者逃げ遅れ対応訓練》

※聴覚障害者が逃げ遅れたという想定で地区の集会所に救援に行く訓練。

■ 訓練ステージNo.7《622避難訓練の検証》

※午前中に実施した実働の訓練を午後から『検証』を行なう。案内人:瀧本浩一。

■ 訓練ステージNo.8《災害サイン訓練》

※聴覚障害者災害対策協議会の指導で小野小学校6年生がサイン訓練を行なう。

■ 訓練ステージNo.9《マスコミ・記者かぶりつき対応訓練》

※災害現場に取材にやってきた「マスコミ」に対しての対応訓練を実施する。

■ 訓練ステージNo.10《山口県・土砂災害対応訓練》

※土砂災害警戒情報が発令されたという想定で行政間伝達と住民伝達の訓練を実施する。

主催 佐波川流域防災訓練実行委員会、国土交通省中国地方整備局 山口河川国道事務所

共催 山口県[防府警察署,防災危機管理課,技術管理課,河川課,砂防課,防府土木建築事務所]、防府市[防災対策室,消防本部,河川港湾課]、

後援 防府市社会福祉協議会、防府商工会議所、防府市自治会連合会、防府市市民活動支援センター、防府/防災ネットワーク推進会議、NPO市民活動さぽーとねっと、防府市聴覚障害者災害対策協議会、水の自遊人しんすいせんたいアカザ隊、まちづくりグループ時空の樹会、NPO砂防ボランティア協会、減災研究会、やまぐち県民活動支援センター、小野水辺の楽校空間利用を考える会、山口ケーブルビジョン(株)、山口県技術士会、(株)NTT西日本山口、中国電力(株)、陸上自衛隊 第17普通科連隊、

協力 小野地域自治会連合会、防府市立小野小学校、防府市立小野中学校、小野公民館、防府市消防団小野分団、

2006 土砂災害に対する防災訓練 in 防府市小野地区



いつ!どの時点で“ひなん”(防災初動訓練)

参加&見学
してみませんか…?

小野小学校5年生(31名)と自治会、自主防災会の人たちがいっしょになって、地域の防災を考える訓練を行います。

詳しくは: 防府市総務課(担当 能野)

TEL 0835-23-2

地域防災図上訓練 (T-DIG)



日時 平成18年6月8日(木)

9時30分受付

→10時00分訓練開始

→14時30分訓練終了

場所 防府市立小野小学校 体育館

主催: 山口県、防府市 快援: 田交省 中田地方整備局 山口河川国道事務所

協賛: NPO法人市民活動支援センター 防府会

協力: 防府市立小野小学校、防府市消防本部、防府市社会福祉協議会、FM ねのこFM